

# 統計調査ニュース

No.396

令和元年（2019年）11月



## ひろがる、統計データ利活用の輪

統計データ利活用センター長 谷道 正太郎

総務省統計局と独立行政法人統計センターが、先進的な統計データ利活用の推進拠点として「統計データ利活用センター」を和歌山県内に開設して約1年半が経ちました。この間、統計データ利活用に関する様々な連携が、関西を中心に、全国にひろがっています。

統計データ利活用センターでは、ICTを活用し、情報セキュリティを確保しつつ高度なデータ解析を実現する「統計マイクロデータの提供」  
 ・データ利活用の先進事例を創出するための研究や地方公共団体への利活用支援などの「統計データ利活用の推進・支援」  
 ・データサイエンススキルや統計リテラシーの向上に向けた「統計データ利活用に関する人材育成」の三本柱を中心に活動を展開しています。

「統計マイクロデータの提供」では、大学や研究機関との連携を進め、統計マイクロデータを用いた解析を行うための専用室（オンサイト施設）が全国に12か所開設され

ています。改正統計法の施行により、本年5月からは統計マイクロデータの利用範囲が拡大され、また、オンサイト施設の本格運用も始まりました。新たな枠組みの下で、政府統計データをより多様・高度に用いる研究が進められています。

「統計データ利活用の推進・支援」では、地方公共団体と連携し共同で統計マイクロデータや地方公共団体が有するデータを活用した地域課題解決の取組を進めているほか、優良事例の周知・展開も行っております。10月18日に受賞団体を発表いたしました「地方公共団体における統計データ利活用表彰」では、全国から統計データ利活用の進んだ取組を応募いただきました。こうした取組を広く共有し、各地でのデータ利活用の参考となるよう、本年5月には、地方公共団体のためのデータ利活用支援サイト「Data StaRt」（データ・スタート）も開設しております。

「統計データ利活用に関する人材育成」においても、私どもが開催する研修会に全国から参加いた

くとともに、地方公共団体と連携し、各地において統計データ利活用に関する取組の御紹介を行っております。また、子ども向けの統計プログラミング教室を全国12か所で開催するなど幅広い層に対しての取組も進めています。

このように、統計データ利活用センターでは、和歌山県をはじめ多くの皆様と連携・協力をしながら、データ利活用の良いモデルを構築し、全国に発信しております。

政府統計データは、多くの皆様の御理解と御協力、そして調査対象の皆様からの御回答によって作成される貴重な社会の情報基盤です。その政府統計データの可能性・有用性を、利活用の取組を通じて、これから更に広げてまいります。今後とも御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、より多くの皆様と統計データ利活用を通じた連携を進め、社会経済の発展や地域課題の解決に貢献してまいります。

### 目次

ひろがる、統計データ利活用の輪	1	第67回統計グラフ全国コンクール入賞作品決定	5
令和2年国勢調査の実施に向けて(その7)	2	統計研修生募集の御案内	
I「2019年度 統計関連学会連合大会」に参加して	3	－2019年度第4四半期(令和2年1～3月)－	7
II「経済統計学会 第63回全国研究大会」に参加して	4	令和元年度統計研修受講記	8
「令和元年秋の叙勲」	4	中核市発とうい通信③	9

# 令和2年国勢調査の実施に向けて(その7) - 「令和2年国勢調査実施本部」の発足について -



総務省では、来年10月に実施する令和2年国勢調査の円滑かつ確実な実施と、精度の高い有用なデータの提供に取り組むため、「令和2年国勢調査実施本部」を発足しました。

## ○ 令和2年国勢調査実施本部について

令和2年10月1日に実施する国勢調査は、我が国に居住する全ての人を対象とする最も基本的かつ重要な統計調査であり、調査の結果は、我が国社会経済の基盤データとして、各種施策の基礎資料となるものです。

今回の国勢調査は、令和最初の国勢調査であり、大正9年の第1回調査から100年となる節目を迎えます。

この度、令和2年国勢調査の円滑かつ確実な実施と、精度の高い有用なデータの提供に取り組むため、総務大臣を本部長とする「令和2年国勢調査実施本部」を発足しました。

## ○ 主な活動内容

- (1) 国勢調査の円滑かつ確実な実施に関すること
- (2) 国勢調査への協力確保及び総合的な広報の推進に関すること
- (3) 国勢調査の結果の提供に関すること

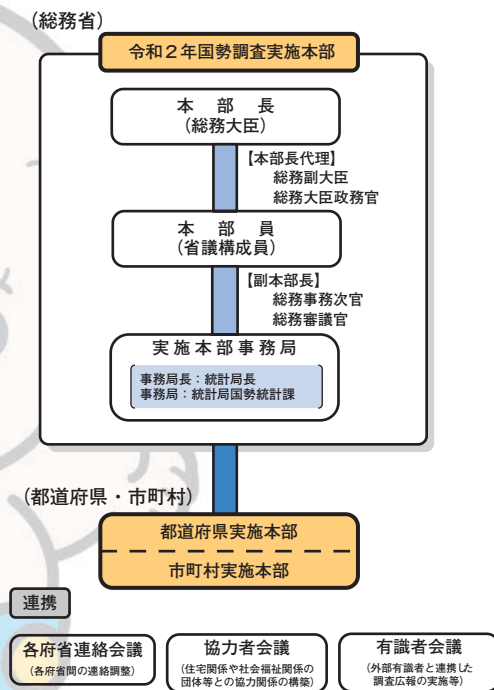
## ○ 本部設置期間

令和元年10月から令和3年3月まで

## ○ 構成

本部長	総務大臣
本部長代理	総務副大臣、総務大臣政務官
副本部長	総務事務次官、総務審議官
本部員	省議構成員(部局長等)

【図：令和2年国勢調査の推進体制】



## － 本部長（高市総務大臣）訓示 －

5年に一度、10月1日に行う国勢調査まで、本日でちょうど1年となりました。

ここに、令和2年国勢調査実施本部を立ち上げます。

前回の国勢調査も私は総務大臣として、この省議室で実施本部を立ち上げ、翌年の調査を実施いたしました。つくづく、国勢調査に縁があるのだな、と思っております。

来年の国勢調査は、令和初の国勢調査であり、大正9年に第1回の国勢調査が実施されてから、100年の節目となる調査でございます。大正時代の第1回は、大変盛り上がったということを聞いております。

今回、本部員の皆様をお願いをしたいのは、第1回と同じく調査を盛り上げていただくとともに、非常に便利でコスト的にも安価な、インターネット回答の促進をしっかりとやっていただきたいこと、そして、外国人の方、御高齢の方、障害をお持ちの方にも回答しやすいバリアフリーな調査にしていきたい、ということでございます。

総務省の全部局を挙げて、地方公共団体や調査員の方々と協力して、しっかりと成功させましょう。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

統計局、政策統括官（統計基準担当）、統計研究研修所及び独立行政法人統計センターは、統計技術の研究その他統計の改善発達に資することなどを目的として、統計関連の学会に団体会員として加盟し、大会での発表を中心に積極的に参加しています。

令和元年9月に統計関連学会連合大会及び経済統計学会が開催されましたので、その概要を紹介します。

## I 「2019年度 統計関連学会連合大会」に参加して

令和元年9月8日（日）から9月12日（木）にかけて、滋賀大学彦根キャンパスにおいて、2019年度統計関連学会連合大会が開催されました。

本大会は、応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会の6学会の主催、滋賀大学の共催により開催されました。

今年度は、以下のテーマについて発表講演を行いました。（敬称略）

### 9月9日（月）13:00～15:00 公的統計（1）

- 未活用労働指標の遡及集計について  
堀川 泰輝、大島 敬士（労働力人口統計室）
- 統計データの二次的利用における統計センターの取組  
中沢 庸介、高橋 雅夫（（独）統計センター）
- 消費動向指数（CTI）の作成への民間企業データ活用に関する検討  
武藤 杏里、深尾 豊史、高井 健作（（独）統計センター）、櫻井 智章（消費統計課）
- 令和2年国勢調査の実施  
羽鳥 記章（国勢統計課）

### 9月9日（月）15:30～17:10 公的統計（2）

- 欠測データ解析を用いた複数の政府統計調査の統計的融合  
慶野 有輝、星野 崇宏、清水 祐弥（慶應義塾大学）、柴田 卓也（消費統計課）
- 全国消費実態調査4回分の匿名データから作成した擬似マイクロデータを用いたデータ分析コンテスト  
高橋 行雄（BioStat 研究所（株））、周防 節雄（統計情報研究開発センター）、宮内 亨（（独）統計センター）
- 全国消費実態調査の擬似マイクロデータを用いた教育プログラムの開発  
古隅 弘樹、有馬 昌宏、川向 肇（兵庫県立大学）、周防 節雄（統計情報研究開発センター）、高橋 行雄（BioStat 研究所（株））、宮内 亨（（独）統計センター）

### 9月10日（火）15:30～17:30 計算機統計・空間統計

- 空間サンプリングのシミュレーションによる考察  
増成 敬三（政策統括官（統計基準担当））、陳 静慧（早稲田大学）

### 9月11日（水）10:00～12:00 企画セッション（02）

#### 「公的統計における指数作成方法の新しい展開」

- 宿泊料の指数作成に関する新しい試み  
尾中 裕一（物価統計室）
- 小売物価統計調査（構造編）の見直しについて  
風間 政和（事業所情報管理課）

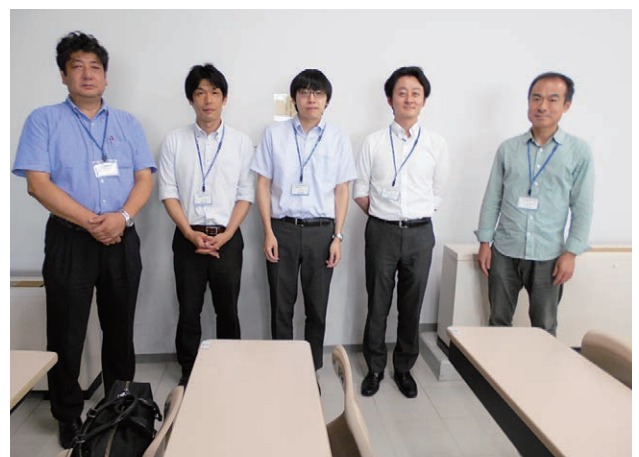
### 9月12日（木）13:00～15:00 企画セッション（15）

#### 「マイクロデータの利用技術とEBPM」

- 統計データ利活用センター活動を通じたEBPMへの貢献  
谷道 正太郎（総務課）

### 9月12日（木）13:00～15:00 社会・経済データ分析

- 統計情報可視化システム MESHSTATS：統計オンデマンドサービス Stat on-demand の試作  
佐藤 彰洋（横浜市立大学）、楨田 直木（滋賀大学）、西村 正貴（（独）統計センター）



集合写真（滋賀大学彦根キャンパス  
第二校舎棟第23講義室にて）

## Ⅱ 「経済統計学会 第63回全国研究大会」に参加して

令和元年9月6日（金）から9月7日（土）にかけて、東北学院大学土樋キャンパスにおいて開催された経済統計学会第63回全国研究大会では、以下のテーマについて発表講演を行いました。（敬称略）

### 9月6日（金）9:00～12:00 国民経済計算に関する諸問題

- 供給・使用表の推計における品目別商業マージンの把握に向けて－価格情報を活用したガソリンの商業マージン推計の検討－  
山岸 圭輔（政策統括官（統計基準担当））

### 9月6日（金）9:00～11:30 統計史を考える

- コーディネータ：小林 良行（統計研究研修所）  
座長：山口 幸三（統計研究研修所）
- 戦前と戦後における標本抽出  
山口 幸三（統計研究研修所）
- 製表事務の変遷と統計機械－消えた統計実務用語－  
小林 良行（統計研究研修所）

### 9月6日（金）13:00～15:00 公的統計の作成に関する現状と課題

- 座長：小林 良行（統計研究研修所）
- モデルの判別精度によるグローバルリコーディングの有用性評価  
佐野 夏樹（統計研究研修所）
- 統計調査の欠測値補完方法に関する基本的文献と諸外国の動向について  
坂下 信之（統計研究研修所）

### 9月7日（土）9:30～11:30 指数の作成に関する諸課題

- 2020年基準消費者物価指数（CPI）における「葬儀料」の採用について  
松下 真紀, 武井 大（物価統計室）
- 消費動向指数（CTI）の作成への民間企業データ活用に関する検討  
櫻井 智章（消費統計課）, 高井 健作, 深尾 豊史, 武藤 杏里（（独）統計センター）

### 9月7日（土）9:30～12:00 ミクロデータの提供と利用

- ミクロデータの利活用推進に向けた統計データ利活用センターの取組み  
野崎 政志, 堤 亮二, 森川 仁美（（独）統計センター）
- 統計センターが提供するミクロデータ利用サービスについて  
白川 清美（（独）統計センター）



集合写真（東北学院大学土樋キャンパス  
ホーイ記念館3階ロビーにて）

## 「令和元年秋の叙勲」

政府は、11月3日の文化の日に、「秋の叙勲」の受章者を発令しました。

総務省では、12月10日にザ・プリンス パークタワー東京において、伝達式を行うこととしており、受章者は伝達式の後、皇居において天皇陛下下に拝謁する予定です。

総務省における統計関係では、永年にわたり国勢調査を始め各種統計調査に調査員として従事し、調査実施に多大な貢献をした次の方々が、勲章の榮譽に浴されました。栄えある叙勲にお祝い申し上げます。

### 【勲章受章者】

#### ○瑞宝単光章

石井 吉三郎  
浦野 信子  
白井 幸三郎  
西 博三  
服部 善光  
角掛 三四郎  
平野 勇治  
三浦 一郎  
村上 明美  
渡邊 由一  
川村 靖子  
來栖 瑞恵  
中野 龍太郎  
河井 勉  
土門 清  
加藤 京子  
佐藤 知三  
高村 正美  
塚本 昌夫  
長嶋 元利

※敬称略

（北海道）  
（北海道）  
（北海道）  
（北海道）  
（北海道）  
（岩手県）  
（岩手県）  
（岩手県）  
（岩手県）  
（岩手県）  
（岩手県）  
（宮城県）  
（秋田県）  
（秋田県）  
（山形県）  
（山形県）  
（福島県）  
（福島県）  
（茨城県）  
（茨城県）  
（茨城県）

寄原 カヨ子  
鈴木 啓子  
土屋 弘明  
今給黎 克子  
小高 千恵子  
黒田 美代子  
石丸 ひさか  
岡本 久子  
田中 恵子  
深山 利一  
秋山 恵子  
春日 敏子  
藤本 利子  
松永 三義  
加藤 満智子  
木村 千恵子  
嶋村 淑美  
齋藤 繁子  
渡邊 ケイ子  
松田 文子  
横山 真知子  
佐藤 彰子

（栃木県）  
（栃木県）  
（群馬県）  
（埼玉県）  
（埼玉県）  
（埼玉県）  
（千葉県）  
（千葉県）  
（千葉県）  
（千葉県）  
（東京都）  
（東京都）  
（東京都）  
（東京都）  
（神奈川県）  
（神奈川県）  
（神奈川県）  
（新潟県）  
（新潟県）  
（福井県）  
（長野県）  
（岐阜県）

國原 芳子  
伊藤 由美子  
海老 純江  
柴田 紀美恵  
鈴木 和子  
鈴木 カヨ  
松谷 錦美恵  
奥野 皖司  
小堀 節子  
佐々木 一美  
村尾 久美子  
矢田貝 キサエ  
切貫 光代  
森 恵美子  
小池 恵子  
森永 美代子  
久保田 邦夫  
皆川 みどり  
菊谷 和子  
浅野 啓子  
竹中 民子  
松下 展代

（静岡県）  
（愛知県）  
（愛知県）  
（愛知県）  
（愛知県）  
（愛知県）  
（愛知県）  
（大阪府）  
（大阪府）  
（大阪府）  
（大阪府）  
（大阪府）  
（兵庫県）  
（兵庫県）  
（岡山県）  
（岡山県）  
（広島県）  
（広島県）  
（山口県）  
（福岡県）  
（福岡県）  
（鹿児島県）

# 第67回統計グラフ全国コンクール入賞作品決定

総務大臣賞は、茨城県茨城中学校2年 根岸 浩志朗さん  
茨城県日立市立河原子中学校1年 鈴木 隆生さんの作品

探そう!! になりたい自分。Let's make a life plan.

## 【統計グラフ全国コンクール】

統計グラフ全国コンクールは、国民の皆さんに、統計グラフの作成を通じて、日常生活の中で統計を利用することの有用性を知っていただくとともに、統計調査への理解を深めていただくことを目的に、昭和28年から実施されています。

公益財団法人統計情報研究開発センターが主催する第67回統計グラフ全国コンクールは、総務省、文部科学省等の関係機関が後援及び協賛し、実施されました。

## 【審査経過】

第67回目を迎える本年度は、全6部門に、全国の小・中学生から一般の方々まで、計25,787作品に及ぶ多くの応募があり、各都道府県の統計グラフコンクールを兼ね

た第1次審査、総務省職員等による第2次審査を経た後、統計グラフ全国コンクール最終審査会（審査委員長：渡辺美智子慶應義塾大学大学院教授）において、部門別に特選6作品が決定されました。

さらに、各部の特選作品から、「総務大臣賞」、「文部科学大臣賞」、「日本統計学会会長賞」、「日本品質管理学会賞」、「金丸三郎賞」及び「石橋信夫賞」を決定しました。

## 【表彰等】

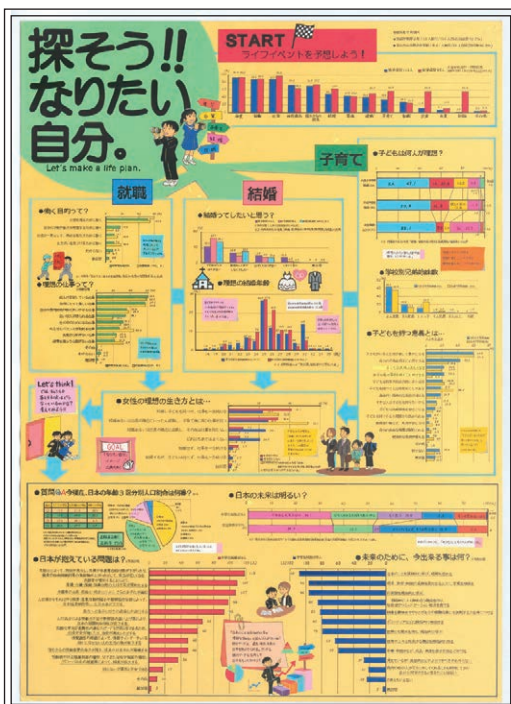
「総務大臣賞」を始めとする受賞作品は、令和元年11月18日（月）に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センター（カルチャー棟大ホール）で開催された「第69回全国統計大会」において、表彰されました。

## 令和元年度 総務大臣賞及び文部科学大臣賞

### 【総務大臣賞】

探そう!! になりたい自分。Let's make a life plan.

〔第4部（中学校の生徒）特選作品〕

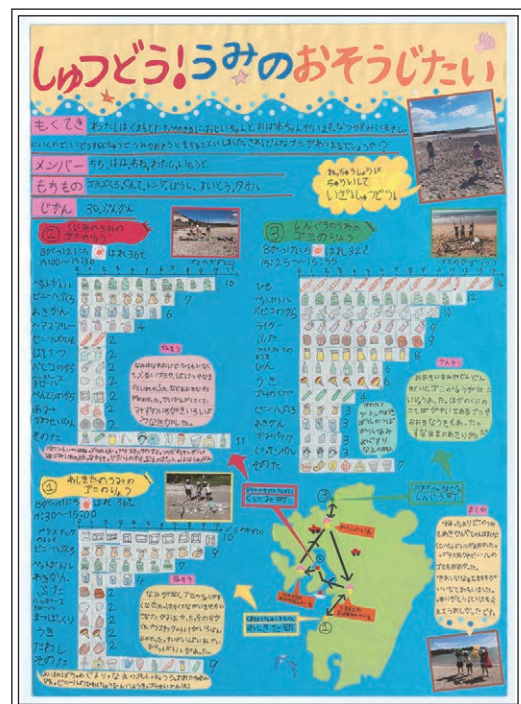


茨城県茨城中学校2年 根岸 浩志朗さん  
茨城県日立市立河原子中学校1年 鈴木 隆生さん

### 【文部科学大臣賞】

しゅつどう! うみのおそうじたい

〔第1部（小学校1・2年生の児童）特選作品〕



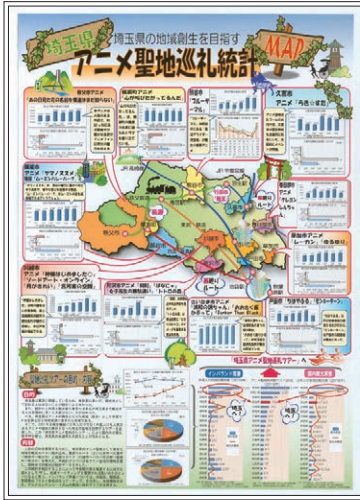
福岡県春日市立春日東小学校1年 宮本 紗帆さん

## 特別賞受賞作品

【日本統計学会会長賞】

埼玉県アニメ聖地巡礼統計MAP

〔パソコン統計グラフの部 (小学校の児童以上) 特選作品〕



埼玉県立教新座高等学校2年  
川口 龍之介さん

【日本品質管理学会賞】

香川の海ゴミへらし隊

〔第2部 (小学校3・4年生の児童) 特選作品〕

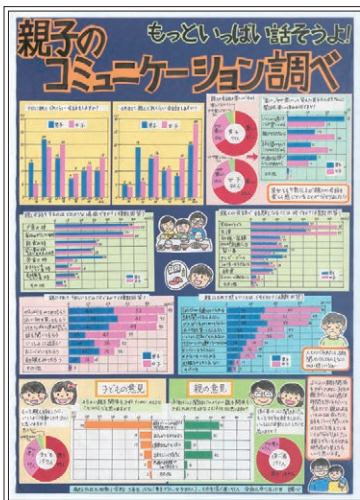


香川県丸亀市立岡田小学校4年  
山田 彩陽さん

【金丸三郎賞】

もっといっぱい話そうよ! 親子のコミュニケーション調べ

〔第3部 (小学校5・6年生の児童) 特選作品〕

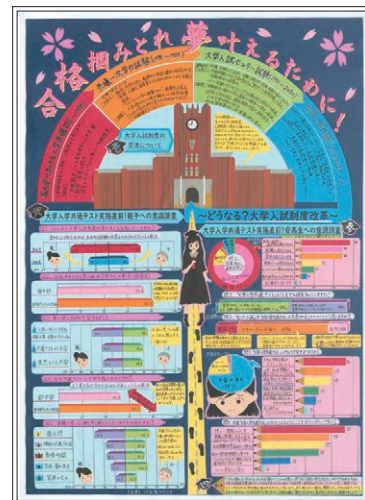


香川県高松市立太田南小学校5年  
前田 壮一朗さん

【石橋信夫賞】

合格掴みとれ 夢叶えるために! ~どうなる? 大学入試制度改革~

〔第5部 (高等学校以上の生徒、学生及び一般) 特選作品〕



大分県大分県立安心院高等学校1年  
佐藤 紗雪さん

### 【作品の展示】

これらの入賞作品は、「統計の日」関連行事の一環として、10月19日(土)、20日(日)に新宿駅西口広場イベントコーナーで開催した「統計データ・グラフフェア」において展示されました。

また、作品の表彰式を行った「第69回全国統計大会」の会場においても展示されました。

なお、各都道府県の統計グラフコンクールにおける入選作品は、各都道府県の展示会で展示される予定です。



統計データ・グラフフェアでの展示

# ▶▶▶ 統計研修生募集の御案内 ◀◀◀

## —2019年度第4四半期（令和2年1～3月）—

統計研究研修所では、国・地方公共団体の職員（教員を含む。）及び政府関係機関の職員を対象に様々な研修を実施しており、現在、2019年度第4四半期の統計研修生を募集していますので、研修の概要を御紹介します。

2019年度第4四半期に実施する研修は以下のとおりですが、研修内容等の詳細については、府省等、都道府県及び市区町村に別途送付する「統計研修の募集要項」、統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」又は統計研究研修所ホームページを御覧ください。

統計研修ひろば【<https://t-kensyu.sbj.nstac.hq.admix.go.jp/portal/index.html>】

統計研究研修所ホームページ【<https://www.stat.go.jp/training/1kenshu/1.html>】

### ◇ 統計入門課程「統計実務者向け入門（1月・3月）」

Excelで関数やピボットテーブルなど、PCの操作に慣れている職員を対象とした課程

《2日間》【募集人数 50名】

- ▶ 研修概要 基本的な統計知識の習得を目指す新任職員を対象に、統計調査の企画・設計などの実務的な基礎知識を学ぶ
- ▶ 研修期間 1月16日（木）、1月17日（金）  
3月3日（火）、3月4日（水）
- ▶ 応募締切 1月開講分：11月21日（木）  
3月開講分：1月7日（火）
- ▶ 研修科目 統計グラフの基礎、記述統計入門、統計調査入門

### ◇ 統計専門課程「経済予測」

Excelで関数やピボットテーブルなど、PCの操作に慣れている職員を対象とした課程

《5日間》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 統計基本課程を修了程度の職員を対象として、各種経済統計データを用いた、経済予測のための実践的な知識・手法を学ぶ
- ▶ 研修期間 1月20日（月）～1月24日（金）
- ▶ 応募締切 11月21日（木）
- ▶ 研修科目 現下の経済動向、予測のための経済基礎理論、ケインジアンモデルによる経済予測、産業連関表による経済波及効果、生産関数による経済予測

### ◇ 特別コース「ビッグデータ利活用—基礎から応用まで—」

Excelの基本的な操作ができる職員を対象とした課程

《2日間》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 公的統計におけるビッグデータ、民間のビッグデータの現状、事例等を紹介
- ▶ 研修期間 1月29日（水）、1月30日（木）
- ▶ 応募締切 11月27日（水）
- ▶ 研修科目 ビッグデータの概要、ビッグデータを身近に活用する方法、ビッグデータとパーソナル

データ、ビッグデータ等の活用事例、ビッグデータ利活用のための枠組

### ◇ 統計専門課程「マイクロデータ分析 - Rによる統計解析 -」

プログラミング又は統計解析ソフトのスク립トの作成経験がある職員を対象とした課程

《4日間》【募集人数 30名】

- ▶ 研修概要 ミクロデータの分析のための知識と技術を学び、擬似マイクロデータを用いた演習を行う  
※統計解析ソフトRを利用
- ▶ 研修期間 2月4日（火）～2月7日（金）
- ▶ 応募締切 11月27日（水）
- ▶ 研修科目 統計解析ソフトウェアRとマイクロデータ分析の基礎、標本抽出法と標準誤差の評価、マイクロデータ分析の実際

### ◇ 統計入門課程「統計利用者向け入門（2月・3月）」

Excelの基本的な操作ができる職員を対象とした課程

《2日間》【募集人数 50名】

- ▶ 研修概要 基本的な統計知識の習得を目指す新任職員（主として、政策担当、事業担当等の統計を利活用する部署の職員）を対象に、統計の初歩と主要統計指標の見方、統計データ利用のための基礎知識を学ぶ
- ▶ 研修期間 2月13日（木）、2月14日（金）  
3月5日（木）、3月6日（金）
- ▶ 応募締切 2月開講分：12月19日（木）  
3月開講分：1月7日（火）
- ▶ 研修科目 e-Statの利用、地図で見る統計（統計GIS）、統計グラフの基礎・作成、データ分析入門

## ◇ 統計専門課程 「政策立案と統計」

Excelの基本的な操作ができる職員を対象とした課程

《3日間》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 政策立案に必要な統計の知識・理論、統計が政策立案に活かされた事例等を学ぶ
- ▶ 研修期間 2月17日(月)～2月19日(水)
- ▶ 応募締切 2月19日(木)
- ▶ 研修科目 地域施策と統計データの利活用、統計と社会問題への対策、公的統計データの利用方法、EBPMと統計など

## ◇ 統計専門課程 「政策評価と統計」

Excelで関数やピボットテーブルなど、PCの操作に慣れている職員を対象とした課程

《2日間》【募集人数 40名】

- ▶ 研修概要 行政評価に必要な統計の知識・理論を学び、アンケートの調査・集計・解析の演習を行う
- ▶ 研修期間 2月20日(木)、2月21日(金)
- ▶ 応募締切 2月19日(木)
- ▶ 研修科目 行政評価における統計データの見方・使い方、行政評価の現状と課題、アンケートの調査・集計・解析

統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を御活用ください！

統計研究研修所では、統計研修担当者及び研修受講希望者の利便性を図るため、国家公務員及び地方公務員に向けた統計研修の受講案内等を掲載した統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を政府統計共同利用システム内に開設しておりますので、積極的な活用をお願いいたします。

【ポータルサイト掲載項目(主なもの)】

- 統計研修一覧(募集案内、開催予定、シラバス等)
- 受講申込方法(募集要項、推薦書様式等)
- 統計研究研修所の概要

統計研修ひろばURL

<https://t-kensyu.sbj.nstac.hq.admix.go.jp/portal/index.html>

※ 閲覧には、政府共通ネットワーク又は総合行政ネットワーク(LGWAN)に接続している必要があります。

〈お問合せ先〉

統計研究研修所研修企画課企画係

TEL 042-320-5874

E-mail o-kenkikaku@soumu.go.jp

## 令和元年度統計研修受講記

## 令和元年度 特別コース「教育関係者向けセミナー」を受講して

宮城県古川黎明高等学校 教諭 山田 直人

私は公立高等学校で数学を教えています。高校数学で学ぶ統計学は、数学I「データの分析」と数学B「確率分布と統計的な推測」です。後者は選択単元なので教える機会が少なく、前者で基礎知識や簡単なデータの扱い方を学んでいる現状です。平成30年7月告示の高等学校学習指導要領において、より数学Bの統計分野に重きが置かれることになり、今後どう指導しようか思案していました。そこで統計学を通して、生徒の知的好奇心をくすぐり、統計学へのワクワク感を高めることを目指し、総務省統計研究研修所で開講される研修を受講しました。

講義『「統計的思考方」の導入』では、統計学の面白さを学びました。当然のように登場する箱ひげ図ですが、なぜヒストグラムではなく箱ひげ図を使うのか。この「なぜ」が授業で抜け落ちて当たり前のように箱ひげ図を生徒に使わせていました。3つ程度のデータであればヒストグラムが見やすいが、多くのデータを扱うときは箱ひげ図の方が概況を理解しやすい。このようなメリットを伝えることで、どのグラフを用いればよいか判断する力を身につけさせられることに気づきました。また、四分位数のみならず九分位数や三分位数を扱うことや、外れ値のあるデータの代表値を扱うことなど、統計学へのワクワク感が高まる「目から鱗の教材」をご教授いただきました。

講義『統計指導の意義や重要性等』では、前半部

分で様々なグラフをご提示いただきました。その中にFIFAワールドカップ2018日本対コロンビア戦のある数値の変化を表した折れ線グラフがありました。横軸が時間、縦軸がある数値になっており、私は見た瞬間に「視聴率かな?」と思いました。しかし、ハーフタイムに入った直後と試合終了直後に縦軸の数値が急激に上がっていました。次に考えたのは出店の売り上げでしたが、答えは「水道の使用量」でした。グラフ一つで知的好奇心が急激に刺激され、もっと学びたいと感じました。後半部分のグループワークでは、弁当の売り行きに関するデータが提示され、そのデータの授業における活用法を検討しました。各グループとも活発に意見交換され、品切れを防ぐ経営学から食料廃棄問題を考える食育まで幅広いアイデアが出されました。各グループの発表を聞き、立場や環境が違う方々の様々な価値観に触れ、よい刺激となりました。

1日という限られた時間でしたが、現場ですぐ使えるアイデアや生徒のワクワク感を高めるヒントなどを得ることができました。研修で学んだことを生徒に還元し、さらに自己研鑽を積み重ねていく所存です。熱心にご講義いただいた講師の先生方、研修中に細やかなご高配をいただいた統計研究研修所の皆様、グループワークや昼食時間等で有意義な意見交換をいただいた出席者の皆様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。



## 中核市発とうけい通信 63

## 統計で見る食文化

人口 249,364 人（令和元年 9 月 1 日推計人口）、面積 381.30km<sup>2</sup>の山形市は、平成 31 年 4 月 1 日に中核市に移行しました。明治 22 年に市制施行、昭和 18・29・31 年の合併を経て現在の規模になっています。

室町幕府の役人として入部した「<sup>しばかねより</sup>斯波兼頼」が山形城を築き、子孫である戦国大名「<sup>もがみよしあき</sup>最上義光」（伊達政宗の叔父）が山形の基礎を作り、江戸時代には紅花をはじめ商業の町として栄えました。

ちなみに、山形市の花も「ベニバナ」です。

盆地である山形市は四季の変化が豊かなため、春から初夏にはさくらんぼ、秋には洋なし「ラ・フランス」やりんごと果樹が豊富。また、<sup>りっしやくじ</sup>立石寺のある山寺、スキーや温泉の蔵王など、観光地も山形の魅力です。

## ■花笠まつり

毎年 8 月 5・6・7 日、「花笠まつり」が山形市のメインストリートで開催されます。1 万人を超える踊り手が、「花笠音頭」に合わせて「ヤッショ、マカショ」の掛け声で舞い、観客を魅了します。



花笠まつり

山形市ご当地キャラクター  
「はながたベニちゃん」

なお、花笠まつりを含む東北 6 大祭りが一堂に会する「東北絆まつり」が、令和 2 年 5 月 30・31 日に山形市で開催されます。皆様のお越しをお待ちしております。

## 山形市企画調整部企画調整課

## ■山形の「芋煮」

東北地方・新潟県・関東地方の一部などに「芋煮会」の風習がありますが、山形市では特に馬見ヶ崎川河川敷で、家族・地域住民・学校・職場の仲間など様々な人の集まりで「芋煮会」を開くのが秋の風物詩となっています。山形県内各地で「芋煮」は盛んで、「里芋」は共通ですが、山形市をはじめ内陸部は、しょうゆ味・牛肉、海側（庄内地方など）は、味噌味・豚肉が多く、食文化の違いを代表するものとなっています。

毎年 9 月に馬見ヶ崎川河川敷で「日本一の芋煮会フェスティバル」が開催されます。



日本一の芋煮会フェスティバル

写真はそのフェスティバルで使用する直径 6.5m の大鍋「鍋太郎」で、約 3 万食分です。使用している大型重機は「バックホー」で、衛生のため一度も作業していない新車を、可動部分の潤滑油は洗い落としてマーガリンやバター等にして使用しています。

山形内陸の芋煮はしょうゆ味で、里芋・牛肉・こんにゃく・長ネギをはじめ、まいたけ等のきのこを入れる場合もあります。芋煮の主な材料について家計調査の 1 世帯あたり年間支出ランキング（平成 28～30 年平均）\*を見ると、芋煮の材料のいくつかが上位に位置していることがわかります。

## 芋煮の主な材料の年間支出ランキング

しょうゆ	1 位	さといも	1 位
こんにゃく	1 位	他のきのこ (まいたけ含む)	1 位
牛肉	25 位	ねぎ	27 位

\*家計調査（二人以上の世帯）品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング

山形の人々が芋煮をいかに愛しているか、山形市の食文化が統計から読み取れるのではないのでしょうか。

# 最近の数字

実数	年	月	人口		労働・賃金			産業		家計(二人以上の世帯)		物価		
			総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数			
			千人(Pは万人)	万人	%	円	2015=100	兆円	円	円	円	全国	東京都区部	
2019.	5	6	126,181	6732	2.4	275,198	104.9	30.5	300,901	337,967	101.8	101.6		
	6	P 126,23	6747	2.3	451,692	101.4	P 32.0	276,882	709,195	101.6	101.6			
	7	P 126,22	6731	2.2	374,621	102.7	P 31.8	288,026	501,522	101.6	101.5			
	8	P 126,23	6751	2.2	276,699	101.5	P 31.4	296,327	431,804	101.8	101.8			
	9	P 126,15	6768	2.4	P 272,937	P 102.9	...	300,609	370,189	101.9	101.8			
10	P 126,14	...	...	...	...	...	...	...	...	...	P 102.1			
前年 同月比	2019.	5	-	0.5	*	0.0	-0.5	*	2.0	0.9	4.0	-0.8	0.7	1.1
	6	-	0.9	*	-0.1	0.4	*	-3.3	P 1.1	2.7	3.0	0.7	1.1	
	7	-	1.1	*	-0.1	-1.0	*	1.3	P 1.8	0.8	0.9	0.5	0.9	
	8	-	1.0	*	0.0	-0.1	*	-1.2	P 0.7	1.0	-2.5	0.3	0.6	
	9	-	0.8	*	0.2	P 0.8	*	P 1.4	-	9.5	-1.4	0.2	0.4	

(注) P：速報値 \*：対前月

家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値。各月の前年同月比は、2018年1月に行った調査で使用する家計簿の改正の影響による変動を調整した変動調整値。

## 掲示板

## 統計関係の主要日程 (2019年11月～12月)

### 《会議及び研修関係等》

時期	概要	時期	概要
11月7日	統計研修 統計入門課程「統計実務者向け入門(11月)」開講(～8日)	12月1日	オンライン研修【第3回】「初めて学ぶ統計-公務員のためのオンライン講座-」開講(～31日)
14日	統計研修 統計入門課程「統計利用者向け入門(11月)」開講(～15日)	〃	オンライン研修【第3回】「統計データのできるまで-統計的推測の基礎①-」開講(～31日)
18日	第69回全国統計大会	17日	統計研修 統計入門課程「統計利用者向け入門(12月)」開講(～18日)
26日	統計研修 特別コース「マイクロデータ分析のためのプログラミング-統計解析ソフトRの利用方法を学ぶ-」開講(～27日)	19日	統計研修 統計基本課程「GISによる統計活用」開講(～20日)

### 《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
11月1日	労働力調査(基本集計)2019年9月分(速報)及び2019年7～9月期平均(速報)公表	12月13日	2019年科学技術研究調査結果公表
〃	小売物価統計調査(ガソリン)2019年10月分公表	20日	人口推計(2019年7月1日現在確定値及び2019年12月1日現在概算値)公表
8日	労働力調査(詳細集計)2019年7～9月期平均(速報)公表	〃	消費者物価指数(全国：2019年11月分)公表
〃	家計調査(家計収支編：2019年9月分及び2019年7～9月期平均)公表	〃	小売物価統計調査(全国：2019年11月分)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2019年9月分及び2019年7～9月期平均 ICT関連項目：2019年7～9月期平均)公表	26日	住民基本台帳人口移動報告(2019年11月分)公表
〃	消費動向指数(CTI)2019年9月分及び2019年7～9月期平均公表	27日	労働力調査(基本集計)2019年11月分(速報)公表
20日	人口推計(2019年6月1日現在確定値及び2019年11月1日現在概算値)公表	〃	消費者物価指数(東京都区部：2019年12月分(中旬速報値)及び2019年平均(速報値))公表
22日	消費者物価指数(全国：2019年10月分)公表	〃	小売物価統計調査(東京都区部：2019年12月分)公表
〃	小売物価統計調査(全国：2019年10月分)公表	〃	サービス産業動向調査(2019年10月分速報及び2019年7月分確報)公表
〃	第69回日本統計年鑑(令和2年)刊行	31日	統計トピックス 「子年生まれ」と「新成人」の人口-令和2年 新年にちなんで-公表
26日	住民基本台帳人口移動報告(2019年10月分)公表		
29日	労働力調査(基本集計)2019年10月分(速報)公表		
〃	消費者物価指数(東京都区部：2019年11月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(東京都区部：2019年11月分)公表		
〃	サービス産業動向調査(2019年9月分速報及び2019年7～9月期速報並びに2019年6月分確報及び2019年4～6月期確報)公表		
12月6日	家計調査(家計収支編：2019年10月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2019年10月分)公表		
〃	消費動向指数(CTI)2019年10月分公表		
〃	小売物価統計調査(ガソリン)2019年11月分公表		

**編集発行** **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1  
 総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係  
 TEL 03-5273-1160 FAX 03-3204-9361  
 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp  
 ホームページ <https://www.stat.go.jp/>  
 御意見・御感想をお待ちしております。